

# ボランチ♥通信 5月号

2018年5月31日発行

## 復興支援ボランティア報告会・交通費補助制度の説明会を開催しました。

5月23日(水)の昼休み中に11号館1階SSIC(Sophia Student Integration Commons)にて、昨年度、復興支援活動を行なった学生の皆さんに、被災地での活動について、報告をしていただきました。

上智大学では2011年の東日本大震災発生以降、東北3県・九州3県で復興支援活動を行なう学生に交通費を補助しています。

今回はカリタス米川ベースで活動をした総合グローバル学部3年坂本瑛さん、岩手県で子供支援などを行なっている課外活動団体「僕らの夏休みProject」から、総合人間科学部教育学科2年神谷碧惟さん、理工学部機能創造理工学科2年山川快斗さん、総合人間科学部社会福祉学科3年川名雪花さんにお話を伺いました。川名さんからは熊本での活動についての報告もありました。

### カリタス米川ベースでの活動内容と感想

仮設住宅での子供の見守り・漁業支援を行なった。3月11日にも滞在したが、現地の人々は他の日と変わらない一日であり、報道で伝えられる雰囲気とは違う印象を持った。

### 「僕らの夏休みProject」での活動内容と感想

プロジェクトの構成人数は全国350名ほどで、上智支部として10名ほどで活動している。岩手県の小学生との交流の他に、震災でなくなってしまった祭りの復活を手伝ったり、語り部さんからお話を聞いたりもしている。最低でも10年はこの活動を続ける計画である。現地の人々からは、移住だけでなく、広い世代の人々に東北を訪れて欲しいとお話を聞いている。

### 熊本の状況、活動と感想

熊本は、東北とは被災状況が異なり、壊れた建物もあれば、その隣であっても被害のない建物もある。2年たった今も仮設住宅があり、必要な支援はなにか、そこで暮らす人々のニーズを良く知り、活動をさせてもらうことが大切であると感じた。

現地に行かなければわからないこともあり、言葉で表現することは難しいという感想も寄せられました。ぜひ在学中に、多くの上智生に現地に足を運んで欲しいと思います。



報告会は年に3~4回開催する予定です。  
今後も開催予定をLoyola, Twitter, Line@でお知らせします。  
皆様のご参加をお待ちしています。

## 課外活動団体CeeKがカンボジアフェスティバルに出展しました。



GW中にカンボジアフェスティバルに出展したCeeK代表の法学部国際関係法学科3年の柴田泰和さんより報告をお届けします。

「チョムリアップスオ(こんにちは)! 5月3日と4日のカンボジアフェスティバルが代々木公園で行われました。私たちは、上智大学アジア人材養成研究センターと共同出展させていただきました。CeeKは、活動の紹介とカンボジアへ持って行く洋服・えんぴつ・歯ブラシの寄付を募りました。当日には、とても多くの方々にお越しいただき、物資の寄付をいただきました。ご来場された方のカンボジアの体験談に刺激を受けたり多くの方から寄付を頂いたり、私たちの活動は多くの方々によって成り立っていることを強く感じました。最後になりますが、日頃より活動にご協力いただき本当にありがとうございます。オークン・チュラウン(ありがとうございます)!」

なお、カンボジアに届ける文房具と歯ブラシの寄付を受け付ける箱を2号館1階カトリックセンターと図書館1階に7月末まで設置しています。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

ボランティア・ビューローでは東北・九州復興支援活動について交通費の補助を行なっています。  
制度の詳細は右記のQRコードまたは<http://bit.ly/2BJg2Hc>からご確認いただけます。  
ご興味のある人はぜひ、ご覧ください!



上智大学ボランティア・ビューロー 2号館 1F 学生センター⑧窓口  
Tel : 03-3238-3525 Mail : [volunteer@cl.sophia.ac.jp](mailto:volunteer@cl.sophia.ac.jp) Twitter : @SophiaVolante



上智大学ボランティア・ビューロー (ボランチ)  
SOPHIA VOLUNTEER BUREAU